

日時：平成21年2月23日(月)午前10時30分～午後0時

場所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤 和彦
副学長 古賀 実
事務局長 富永 安昭
文学部長 三木 悦三
環境共生学部長 大和田 紘一
総合管理学部長 松岡 泰
学術情報メディアセンター長 山田 俊
文学研究科長 半藤 英明
委員 河原畑 廣
欠席：委員 石井 博憲
委員 坂本 元子

は、公立大学法人熊本県立大学教育研究会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者である。

事務局：豊田事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、稲葉企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、学生支援課東参事、上村主幹、田尻参事、林参事

1 開会（進行：稲葉企画調整室長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

(1) 審議事項

平成21年度入学者選抜における合格者決定について

・私費外国人留学生特別選抜

事務局から、平成21年度入学者選抜における合格者決定（私費外国人留学生特別選抜）について、資料1-1に基づき、志願と受験状況について説明があった後、各学部長から、資料1-2の判定資料（会議後回収）に基づき、次のとおり説明があった。

大和田環境共生学部長から、「居住環境学科は、1名が志願し受験したが、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

松岡総合管理学部長から、「総合管理学科は、8名が志願し受験したが、面接の結果、日本語の習熟度から授業についていけないと判断して、全員不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

・大学院入試春季募集分

事務局から、平成21年度入学者選抜における合格者決定（大学院入試春季募集分）について、資料2-1に基づき、志願と受験状況について説明があった後、各研究科長から、資料2-2の判定資料（会議後回収）に基づき、次のとおり説明があった。

半藤文学研究科長から、「文学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程の外国人留学生特別選抜は、2名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

半藤文学研究科長から、「文学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程の専門職業人特別選抜は、1名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

半藤文学研究科長から、「文学研究科英語英米文学専攻修士課程の一般選抜は、2名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した2名を合格としたい。」

との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

半藤文学研究科長から、「文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程の春季募集分は、1名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

有菌環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科博士前期課程の一般選抜は、3名が志願し受験した。合格基準を満たした2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

有菌環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科博士前期課程の社会人特別選抜は、1名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

有菌環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科博士前期課程の外国人留学生特別選抜は、1名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

有菌環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科博士後期課程の一般選抜は、3名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した3名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

有菌環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科博士後期課程の社会人特別選抜は、2名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

石橋アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科博士前期課程の一般選抜は、3名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した3名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

石橋アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科博士前期課程の社会人特別選抜は、12名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した12名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

石橋アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科博士前期課程の外国人留学生特別選抜は3名が志願し受験した。合格基準を満たす2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

石橋アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科博士後期課程の一般選抜は、2名が志願し受験した。合格基準を満たしており、受験した2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

石橋アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科博士後期課程の社会人特別選抜は、3名が志願し受験した。合格基準を満たす1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

教員の採用について

松岡総合管理学部長から、教員の採用について、資料3-1及び3-2（会議後回収）に基づき、これまでの経緯の説明の後、「業績審査委員会で審査した結果、ネットワーク管理の経験があり、研究業績も申し分ないということで、相良宗臣氏を採用することとしたい。」との説明があり、続けて古賀副学長から、「12月1日に全学資格審査委員会を開催し、相良宗臣氏を助手として採用することは適当であると判断した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

平成21年度非常勤講師の採用について

事務局から、平成21年度非常勤講師の採用について、資料4に基づき、「前回の教育研究会議後に追加で推薦のあった2名2科目について、資料のとおり非常勤

講師を採用したい。」との説明があった。
審議の結果、案のとおり議決した。

教員の昇任人事について

事務局から、教員の昇任人事について、資料5に基づき、「教員の昇任人事について、12月1日に全学資格審査委員会を開催し、学部長から推薦のあった4名の准教授の審査をし、教授への昇任を判定した。経験年数及び研究業績等2名の教員は要件を満たしている。他の2名の教員については、本学での在職年数は短い、十分な業績があるということで、教授としての資格ありと判断した。」との説明があり、続けて古賀副学長から、「全学資格審査委員会において審査した結果、2名については、十分要件を満たしている。他の2名については、在職年数が足りないが、社会的活動及び実務経験を加味すれば、教授としての資格は十分であるとの判断をした。4名の教員の教授への昇任を承認いただきたい。」との説明があった。
審議の結果、案のとおり議決した。

もっこすプラン2009について

事務局から、もっこすプラン2009について、資料6に基づき、「毎年度、年度計画の179項目中、20項目程度を重点的に取り組むべき重点実施事項としているが、今回の教育研究会議では、重点実施事項について審議いただき、次回の教育研究会議で年度計画全体を審議いただくこととしたい。」との説明の後、18項目の重点実施事項個々の内容について説明があった。
審議の結果、案のとおり了承した。

(2) 報告事項

平成21年度入学者一般選抜の出願状況について

事務局から、平成21年度入学者一般選抜の出願状況について、資料7に基づき、「平成21年度入学者一般選抜の出願者は、昨年度よりは増えた。全国的に見ると国公立大学では志願者が減少していることからすると、何とか踏みとどまっている状況である。県外からの志願者については、全体としては九州内及び東海・近畿地方からが増えており、九州内では北部九州が減り、大分、宮崎、鹿児島各県からが増えている。今後県外に向けた広報の在り方を考えていく必要がある。一般選抜と特別選抜を合わせた全体で見ると、平成21年度は平成20年度に比べ志願倍率は上昇したが、平成19年度に比べればまだ低い状況であり、今後の少子化等の傾向を踏まえれば平成22年度入試が気になるところである。」との報告があった。

熊本県農業研究センターとの包括協定について

地域連携センターから、熊本県農業研究センターとの包括協定について、資料8に基づき、「2月27日に熊本県農業研究センターと包括協定を締結する。包括協定は、12例あるが、公設試験場とは初めてである。共同研究、人材交流、施設相互利用及び食と農の連携を図っていきたい。」との報告があった。

4 閉会